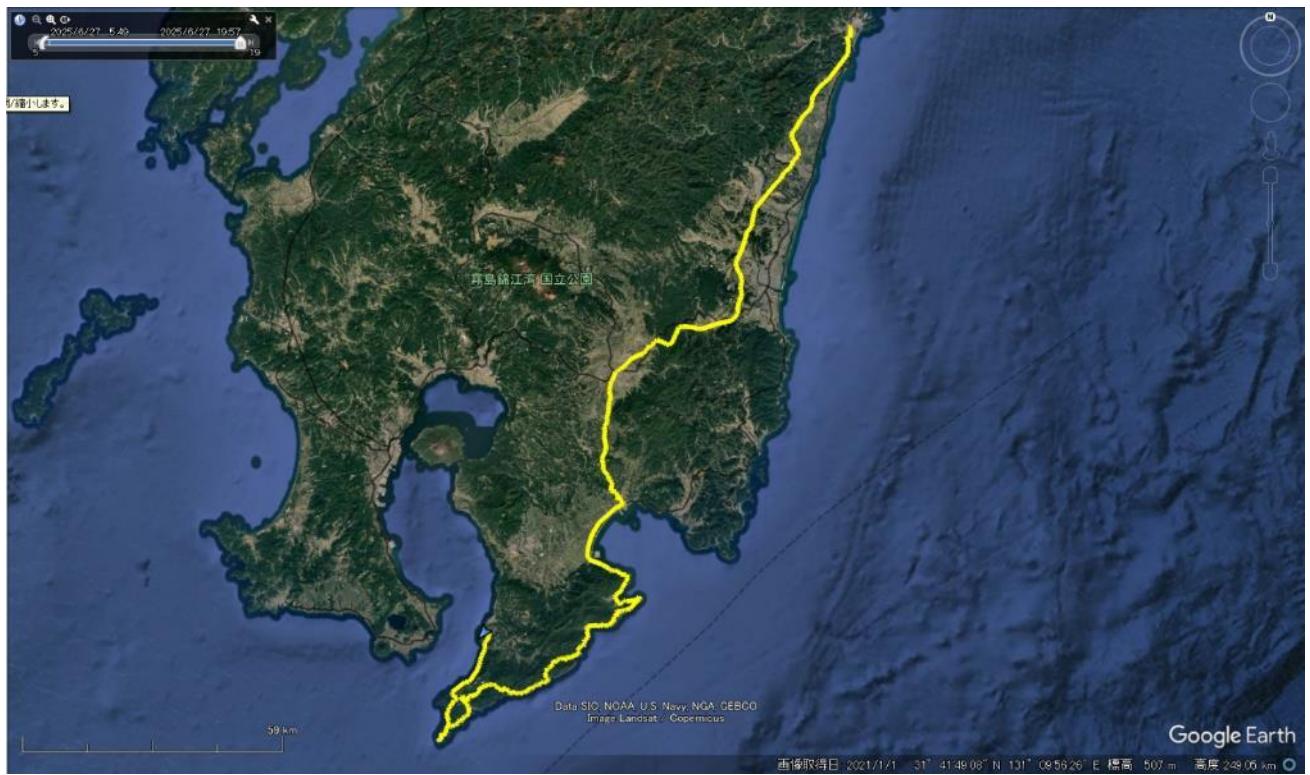


## ☆5日目（6月27日）：日向から根占まで



行程地図（5日目）\_記録 OLYMPUS TOUGH TG-6

遂に、九州地方の梅雨が明けた。これからは、もう雨の心配は無い。今回九州で朝日を拝むのは初めて。今日は、この旅での最長走行距離日で、330 km以上を走らなくてはいけない。宮崎県の日向から鹿児島県の志布志までは、過去に海岸線を走っているので、時間短縮と未走行道路の走行のため、今回は少し内陸の高速道路を使った。日向インターチェンジから東九州自動車道に乗った。いつもながら地方高速は、空いている。

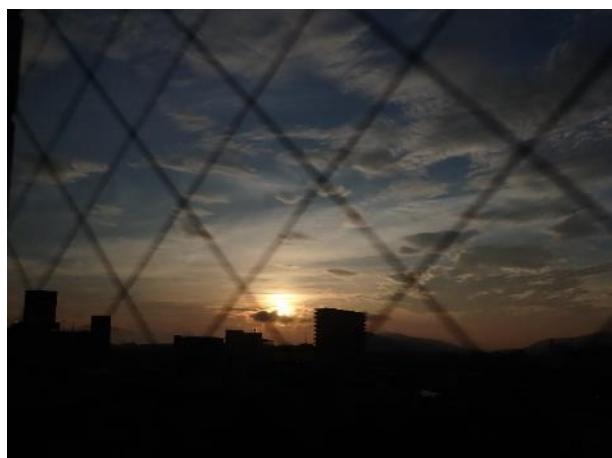


写真 174. 久しぶりに見る朝日



写真 175. まだ、山間には雲がある

途中、自衛隊の新田原基地の近くを通過するときに、「わき見注意」の標識のデザインが戦闘機だったのが面白かった。空いているので、7時前には、宮崎パーキングエリアに着いて、休憩をした。南下してくる程、気温が上がってくる感じがする。雨の心配が無くなつたが、暑さの心配をしなくてはならなくなつた。休憩ごとの水分補給は欠かせない。



写真 176. 戦闘機の窓見注意！



写真 177. 宮崎パーキングエリア

清武ジャンクションで宮崎自動車道に入り、山之口サービスエリアのスマートインターチェンジで高速から降りて、一般道を進む。都城市は先日新燃岳が噴火して降灰があったと言うが、いまは落ちているようだ。都城市内は、車が多く、且つ国道が曲がりくねっていて非常に走りにくかった。国道 269 号沿いに、島津稻荷神社の大鳥居が立っていた。



写真 178. 正面は霧島か？



写真 179. 島津稻荷神社の大鳥居

途中から、都城志布志道路という無料自動車道が出来ていて、助かった。この道の途中で、鹿児島県に入った。この先大隅半島に入ると店が減るので、コンビニで昼飯用のおにぎりと保冷用に凍ったジュースを買い、給油もした。



写真 180. 国道 448 号が呼んでいる

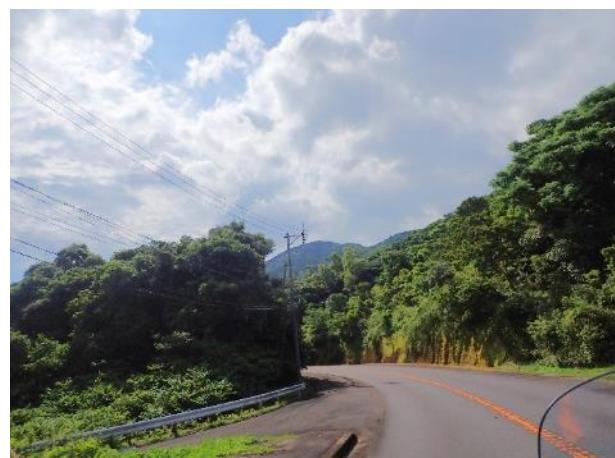


写真 181. 国道 448 号はガラガラ

国道 448 号に入ると、他に車はほとんど走っていない。肝属川（きもつきがわ）の第二有明橋を渡るとき、河口側の先に、志布志石油備蓄基地の一部が見えた。日本に数か所しかない国設の石油備蓄基地である。



写真 182. 肝属川河口を望む



写真 183. 快適な国道は続く

引き続き国道 488 号を進むと、道路脇に既にお役御免となった「人工衛星追跡アンテナ」が現れる。



写真 184. 人工衛星自動追尾アンテナ



写真 185. 追尾アンテナの解説



写真 186. 気温は33°Cになっている

晴れると、軒並み気温が30℃を越えてきた。メッシュジャケットでも、止まると大汗である。内之浦湾越しに、遠くの山の上にJAXAの大きなアンテナが見える。内之浦海岸を越えてすぐ、まずは火崎灯台を目指して、海岸線の道に入る。所々、道が崩れていて修復工事中の箇所があった。



写真 187. 内之浦湾越しにアンテナが見える



写真 188. 工事中片側通行

岬の道は、ほとんど人が通らない様な道で、車はすれ違えない。



写真 189. 火崎灯台への道 (1)



写真 190. 火崎灯台への道 (2)

道が少し広くなったところに小さな「火崎灯台入り口」の立て看板を見つけた。



写真 191. 火崎灯台入り口



写真 192. 火崎灯台に入り口に駐輪

どう見ても、バイクで入っていく様な道でないので、バイクを停めてここからは、徒歩で進む。



写真 193. 草むらにしか見えない道



写真 194. 茂みをぐって進む



写真 195. 奥が明るくなってきた



写真 196. 突然「御崎神社」の鳥居出現



写真 197. 灯台発見



写真 198. 思ったより高い火崎灯台

灯台への道は、全く整備されてなく、ブーツを履いてグローブを着けて来たから良かったが、軽装では絶対来ない方がいいような秘境だった。何時、イノシシや蛇が出てもおかしくない道だし、何も標識がないので迷ったら大変だ。

気温も上がってきいて、この探検でまたも大汗かいてしまい、なんとかバイクまで戻って水分補給。

JAXA 内之浦宇宙空間観測所を目指して岬の尾根道を進む。天気がいいので、海がきれいに見えて気持ちがいい。ただ、なかなか道が複雑で、フェンスで先に進めない所に出て引き返したり、苦労して国道 448 号にでた。



写真 199. 大隅南部県立自然公園



写真 200. バイクを停めて休憩



写真 201. なかなか野趣溢れた尾根道



写真 203. いきなりゲートで通行止め

美濃岬に JAXA の「内之浦 宇宙空間観測所」の入場受付があった。中は、広いのでバイクで移動しながら見学する。入ってすぐの丘に「日本の宇宙開発の父」糸川英夫博士の銅像が立っていた。



写真 204. 広大な敷地である



写真 205. 糸川博士の銅像

晴れた日に、この壮大な施設に来れて本当に良かった。平日だからか、他に見学者がほとんどいない貸し切り状態なものもいい。施設がでかくて何処へ行ってもアフリカツインが小さく見えます。



写真 206. 「おおすみ」打ち上げ記念碑



写真 207. M-3S 型ロケット



写真 208. S-520 型ロケット



写真 209. 直径 34mパラボラアンテナ



写真 210. これで、「ほしがおか」と読みます



写真 211. 衛星ヶ丘展望台



写真 212. JAXA 施設全景と太平洋

施設の門を出て左手前に橋で繋がった「宇宙科学資料室」がある。展示品も古く、内容的に小学生の遠足で見学するとちょうど良い感じ。最後に守衛所の裏の木陰で、コンビニで買ってきたおにぎりとジュースで昼食を取った。



写真 213. 宇宙科学資料室



写真 214. ロケットの模型展示



写真 215. ロケットエンジン



写真 216. 昼食はおにぎり

この先の大隅半島は、自由にコース取りの出来ない秘境に入る。海岸線を走るにも限界はあったが、なんとか佐多岬まで走破。国道 448 号を船間地区で左折して県道 74 号に入る。国道は快適な田舎道でルンルンだが、直射日光が、メッショジャケット越しでも痛い。しかし、県道に入ると道幅は急に狭くなり、路面も整備されていない。



写真 217. 海沿いの国道 448 号



写真 218. 丘を抜ける国道 448 号



写真 219. 落ち葉と砂利だらけの県道 74 号



写真 220. 苔むしている県道 74 号

県道を進むといきなり「実弾射撃中は…」と、注意が！ またまざいところに迷い込んだか？ 少し進むと視界が開けて、演習場らしき広場が見えてきた。陸上自衛隊の佐多射撃場だった。県道のすぐ横にあるのね。



写真 221. 実弾射撃？



写真 222. 自衛隊の佐多射撃場

この射撃場は日本で唯一、対空実射のみならず、洋上の標的に対し、移動するヘリコプターからのドアガン射撃や多目的誘導弾の射撃を行っている所だそうです。流れ弾怖いから訓練中じゃなくて良かった。

この先が、複雑で県道 74 号は、山の中を進む。このとき薩摩半島の開聞岳が一瞬見えた。途中から県道 68 号に乗り換え、途中少し県道 564 号を走り、すぐに県道 68 号に戻り、再び海岸線に出る。「おおすみ絶景街道」と書かれているが、道が複雑に曲がりくねっている。ただ、曲り角毎に小さくても佐多岬への方向が示されていて、迷わず進むことが出来た。ありがたい。



写真 223. 一瞬開聞岳が見えた



写真 224. 「大隅絶景街道」である



写真 225. 県道 68 号も海岸線に戻る



写真 226. 海水はエメラルド色

県道 68 号を進み、大泊で左折して佐多岬に向かう県道 566 号に入る。



写真 227. 「かごしまロマン街道」



写真 228. ガジュマルが垂れ下がる

次ページ（05\_2） [https://kurotora2.michikusa.jp/event/2025\\_Kyushu/2025\\_kyushu\\_05\\_2.pdf](https://kurotora2.michikusa.jp/event/2025_Kyushu/2025_kyushu_05_2.pdf)